

～運動会を終えて～ by 6年生



ぼくは今やりきったという思いでいっぱいです。みんなが普通の服で来るのが少し不思議な感じがします。平成最後の運動会はぼくたちにとって、特別なものになりました。今まで育ててくれた人たちにより感謝したいと思います。とても思い出に残りました。

組体操が一番心に残りました。一つの技を終えたら、拍手がもらえるので、がんばって練習したかいがあったなと達成感でいっぱいになりました。いつもだったら、長く感じる組体操が、本番はとても短く感じました。小学校生活最後の運動会は、とても楽しかったです。

ぼくは白組の応援団長をしました。休み時間もセリフを覚えたり動きを覚えたりして練習をがんばりました。その結果、運動会当日は最高の応援合戦ができました。そして、白組を優勝させることができて本当にうれしかったです。みんなで協力してできたのでよかったです。

私は団結して支え合う心が大切だと思います。私はだいたい上の方でしたが、上はこわかったりします。でも、下にいる人も大変だったと思います。下ががんばっているからこそ一つの技が成功するということがわかりました。仲間のつらさを知りながら、自分もがんばれたと思いました。

演技係の仕事をがんばりました。運動会の前日に流れを確認したけど、実際に本番は難しかったです。ゴールテープの仕事は、たいへんだったけど、うまくできてよかったです。演技係の仕事はとても楽しかったので、音楽会でも、何か係にチャレンジしたいなと思いました。

私は負けてとてもくやしかったです。特に今年は応援団長をしていたのでくやしさが3倍にも4倍にもなったように感じました。でも、一番今心に思っているのは「さみしい」ということです。毎日の練習が終わって、安心するような永遠に終わってほしくないような感じです。

トラストフォールから、一人技、二人技、三人技...そしてフィナーレまで、みんなの心が一つになったように感じて、うれしく思いました。その時間だけ、ひとつになったような不思議な感じでした。一生心に残る日になりました。

組体操は、ほとんどの技を成功させられました。ダブル倒立やサボテンなどもきれいな形でできました。タワーが立ったときのすごい声えんや一年生の驚いた声を聞いて、「やりきった!」という気がしてほんとうにうれしくて泣きそうになりました。

ぼくは組体操を終えてみんなの心が一つになったと思いました。二人技、三人技など、息を合わせないと成功しないからです。だから、練習ではうまくいかなかった技も、本番ではみんなを信じてきたからこそできたと思います。そして、小学校生活最後の運動会を全力でやり切りました。

小学校生活最後の運動会で、悔いの残らない演技をすることができました。徒競走では、初めてゴールテープを切ることができたので嬉しかったです。組体操は、目標通りに正々堂々とやりきることができたので、忘れられない思い出になりました。友達や先生、家族の皆!ありがとう!!

組体操では、不安だった三人技は全部ばっちりできていて、タワーではくずれ落ちずに、上の人を支えられました。練習では負けていた徒競走も、本番一分前に「絶対勝てる!」という予感がして全力で走ったら一位がとれました。今年の運動会は楽しかったです。

ぼくが運動会で一番がんばったのは、組体操です。初めは成功させるのが難しかった三人技も、練習していくうちにできるようになり、本番も、一つもミスなく成功させることができました。運動会を通して、練習を繰り返すことは本当に大事だとわかりました。本当にいい運動会でした!

組体操では、どの技も、上に乗ることが多かったのですが、土台の友達に「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。土台をしてくれた人が、しっかり支えてくれたので、上にもやりやすかったです。全ての技ができたのは、みんなのおかげだと思います。

ずっとあこがれてきた組体操で、小学校生活最後の運動会。最後に皆で手をつないで、輪になった時は、すべての技が無事終わり、けがもなかったのが、涙が出そうになりました。もうみんなで組体操をすることはないけれど、この思い出は一生残ると思います。次は音楽会。がんばります!

私は、最後の運動会で精いっぱい演技をすることができました。残念ながら勝つことできなかったけれど、悔いはありません。自分の最大の力を出せたので、勝ち負けよりも最後の運動会を楽しめたか、全力を出せたかが大切だと思います。

